

令和6年度岩手県献血推進協議会 会議録

1 日時

令和7年1月29日（水） 15:30～16:45

2 場所

盛岡市勤労福祉会館 5階 大ホール

3 出席者

(1) 構成員

宮田 剛 会長、伊藤 薫樹 構成員、本間 博 構成員（熊谷 正則 構成員代理）、
金澤 貴子 構成員、佐藤 隆浩 構成員、柴崎 至 構成員、佐々木 靖 構成員、
熊谷 孝 構成員、高橋 勝重 構成員、田鎖 伸也 構成員、佐藤 尚 構成員、
山田 一子 構成員、新山 秀俊 構成員、熊谷 宏彰 構成員、兼平 宗彦 構成員、
小形 恵一 構成員、櫻 克宏 構成員、阿部 卓司 構成員、松尾 尚人 構成員、
清野 寛光 構成員、伊藤 星花 構成員、
村上 宏治 構成員（向井 奈都美 構成員代理）、
小原 重幸 構成員（佐藤 了一 構成員代理）、佐藤 一男（菊池 英里 構成員代理）
（欠席構成員：鈴木 健二 構成員、菊池 透 構成員、及川 茂 構成員、
多田 一彦 構成員、浅沼 千明 構成員、松田 恵美子 構成員、
菅原 情子 構成員）

(2) 事務局

企画理事兼保健福祉部長 野原 勝、参事兼健康国保課総括課長 日向 秀樹
薬務課長 千田 浩晋、技師 鈴木 ゆめ、技師 藤原 優八
岩手県赤十字血液センター事業部長 佐藤 泉悦、
事業副部長兼献血推進課長 西海枝 武志、事業部 献血推進課 推進係長 川上 寛正

4 会議の内容

(1) 開会

(2) あいさつ（野原企画理事兼保健福祉部長）

(3) 会長選出

会長に宮田剛構成員が選出され、副会長に田鎖伸也構成員が指名された。

(4) 議事

ア 報告

令和6年度献血推進事業等の概況について（資料No. 1 藤原技師、別添資料 川上推進係長が説明）

イ 協議

- ・令和7年度献血目標について（資料No. 2 川上推進係長が説明）
- ・令和7年度岩手県献血推進計画について（資料No. 3 藤原技師が説明）

2件とも案のとおり承認された。

[質疑応答等]

○ (宮田会長)

若年層における献血率の数値目標について、岩手県の令和5年度実績が4.4%となっている。目標値である6.6%を達成するための取組について伺いたい。

○ (血液センター西海枝事業副部長兼献血推進課長)

10代への献血普及の取組として高校生を対象とした献血セミナーを実施している。献血セミナー実施校は昨年度よりも増加し、今年度は1,000人近くに受講いただいたことから、高校生の皆さんの意識の高まりを感じている。

一方、今年度実施した献血ルームでの学生向けキャンペーンについては厳しい結果となった。これらの反省を踏まえ、献血ルームを中心に、より効果的なキャンペーンや職場体験等を実施していきたいと考えている。

○ (金澤構成員)

今年度の若年層対策の取り組みとして献血DJの実施と記載がある。その詳細と今後の展望について伺いたい。

○ (血液センター西海枝事業副部長兼献血推進課長)

献血DJは、当センターのエリア担当職員が、5～10分程度献血に関する校内放送を行うという取り組みである。今年度からこの取り組みを開始したが、実際に献血協力者が増加した事例もあったことから、今後は献血DJの活動そのものの周知にも取り組むこととしている。

○ (宮田会長)

高校への献血バスの配車数が減少した理由について伺いたい。

○ (血液センター西海枝事業副部長兼献血推進課長)

400mL献血を受け入れる高校が減少していることや、生徒数が減少していることが要因である。

○ (宮田会長)

高校側で400mL献血を受け入れない理由とはなにか。有害事象の発生等の理由によるものか。

○ (血液センター西海枝事業副部長兼献血推進課長)

実際の健康被害によるものではなく、200mL献血の2倍採血をする、ということで慎重になっている高校が増加していると認識している。